

# 大津市ごみ減量実施プラン（素案）概要説明

## 1. 趣旨（P 1）

大津市では、平成 23 年 3 月に「一般廃棄物（ごみ）処理基本計画 大津～HEART プラン」（以下「基本計画」という。）として、平成 32 年までを目標とした計画を策定したが、環境保全や財政面から更なる減量施策が必要となった。

そのため、本基本計画に定めた減量施策について、具体的な手法とその実施に伴うごみの分別及び適正処理を検証し、更なる減量のための新たな施策を加えた「大津市ごみ減量実施プラン」（以下「実施プラン」という。）として定め、減量・資源化に対する将来的なガイドラインとして、市民、事業者への徹底した啓発を実施し、取り組んでいくことで効果的な廃棄物の安定処理を図ることを目的とする。

## 2. 目標

### 基本計画における目標（P 19）

目標年度：平成 32 年度

基準年度：平成 19 年度に比して

- 1 人 1 日当たりの家庭系ごみの排出量 20% 削減
- 1 人 1 日当たりの事業系ごみの排出量 20% 削減

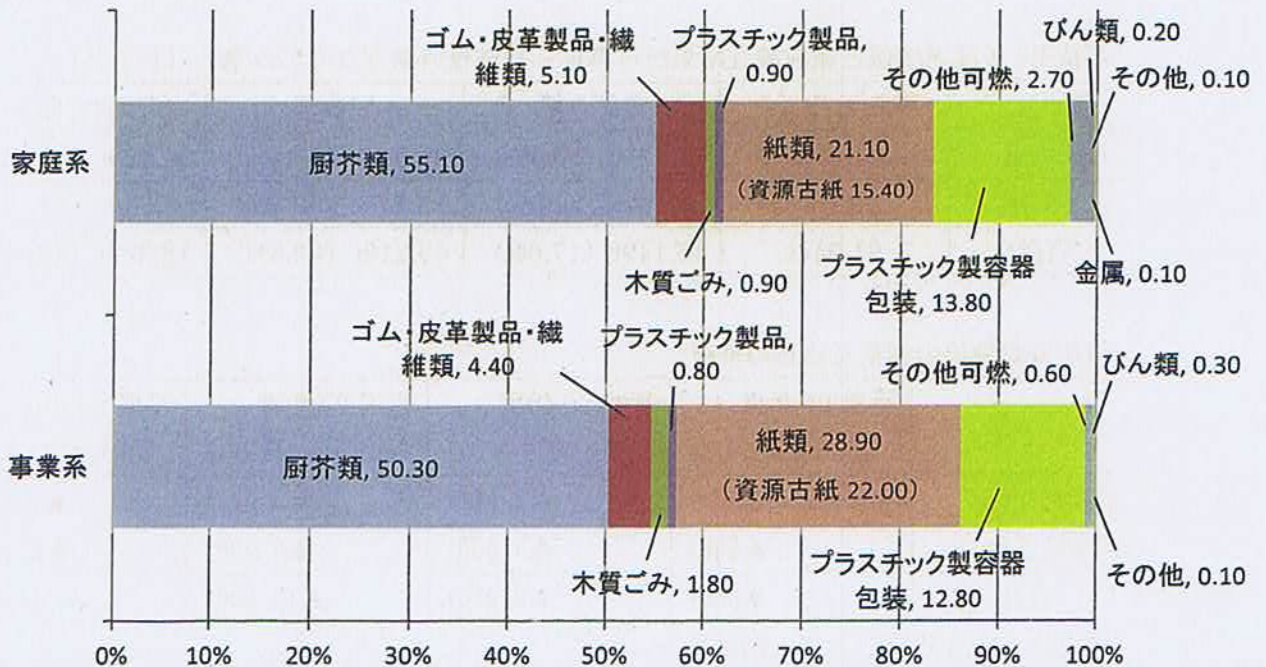
### 大津市ごみ減量実施プランにおける目標（P 25）

- ① 家庭系ごみ：平成 28 年度までに現状から 4,500 t 減量
- ② 事業系ごみ：平成 28 年度までに現状から 6,500 t 減量

## 3. 組成調査結果（P 26）

上段：家庭系ごみ

下段：事業系ごみ



家庭系燃やせるごみ、事業系ごみの組成割合表

種別	家庭系 前回 (H22.3)	家庭系 今回 (H25.8)	事業系 今回 (H25.8)
厨芥類	36.75%	55.10%	50.30%
ゴム・皮革製品・繊維類	3.47%	5.10%	4.40%
木質ごみ	4.50%	0.90%	1.80%
プラスチック製品	1.74%	0.90%	0.80%
資源古紙	31.71%	15.40%	22.00%
その他紙類	4.94%	5.70%	6.90%
プラスチック製容器包装	13.02%	13.80%	12.80%
その他可燃	2.40%	2.70%	0.60%
金属	0.96%	0.10%	—
びん類	0.08%	0.20%	0.30%
その他	0.43%	0.10%	0.10%
燃やせるごみ合計	98.53%	99.60%	99.60%
燃やせるごみ以外合計	1.47%	0.40%	0.40%

※家庭系ごみについては、前回調査との比較を行う。

※事業系ごみについては、今回が初調査となるため比較はない。

#### 4. 組成調査から見えてきたもの (P 3 2)

家庭系、事業系に関わらず、燃やせるごみでは厨芥類の比率が最も高く、その水分比率は家庭系で62.0%、事業系で64.6%と高いものであった。

また、資源古紙とプラ製容器包装の比率が高く、資源化が望まれる。

#### 平成 24 年度実績値と組成調査結果から算定した減量対象となるごみ量 (P 3 3)

	燃やせるごみ	資源古紙	厨芥類	プラ製容器包装
家庭系	61,794t	9,516t (15.4%)	34,048t (55.1%)	8,528t (13.8%)
事業系	30,150t	6,633t (22.0%)	15,165t (50.3%)	3,859t (12.8%)
合計	91,944t	16,149t (17.6%)	49,213t (53.5%)	12,387t (13.5%)

#### 減量施策実施後の減量見込量の推移

	平成 25 年度 (協力率0.56%)	平成 26 年度 (協力率9.2%)	平成 27 年度 (協力率10.2%)	平成 28 年度 (協力率11.2%)
家庭系ごみ	—	▲3,500t	▲4,000t	▲4,500t
事業系ごみ	▲550t	▲5,500t	▲6,000t	▲6,500t
合計	▲550t	▲9,000t	▲10,000t	▲11,000t

※協力率：H24 年度ごみ量と削減量との比較

5. 組成調査から考えられる減量施策の提案 (P 36)

家庭系ごみの減量効果目標については、他都市での導入実績を例にして設定した。(P 41)

【家庭系ごみ】

	減量施策	施策内容	減量目標	最大減量値
資源古紙	分別徹底とごみ処理手数料改定	啓発による住民の協力	資源古紙の3%	285t
	雑がみ回収の推進	行政回収の開始	資源古紙の17%	1,618t
		集団資源回収の推進	資源古紙の5%	476t
厨芥類	フードロス削減運動の推進	フードロス問題の啓発による住民の意識改革	厨芥類の2%	681t
	生ごみの水切り徹底	生ごみ中の水分の多さの啓発と意識改革	厨芥類の3%	1,021t
プラ製容器	プラ製容器包装の適正排出のPR	分別と資源化の啓発と、行政回収の拡充	プラ製容器の4%	341t
	レジ袋削減の取組	マイバッグ持参運動や店舗での啓発を強化	プラ製容器の1%	85t
合計				4,507t

【事業系ごみ】

	減量施策	施策内容	減量効果	最大減量値
資源古紙	ごみ処理手数料改定と資源化業者の紹介	事業者への啓発を強化し、「焼却」から「資源化」へと誘導する	資源古紙の10%	663t
		古紙回収業者の紹介と資源化の推進	資源古紙の20%	1,327t
	中小事業所による事業系ごみの共同排出	民間団体との協働による古紙回収事業。「焼却」より安価な「資源化」を推進	資源古紙の20%	1,327t
厨芥類	ごみ処理手数料改定と資源化業者の紹介	食品リサイクル業者を紹介し、資源化を推進	厨芥類の10%	1,517t
	事業系生ごみの減量	水切りの徹底で水分の除去を推進	厨芥類の5%	758t
プラ製容器	処理施設での搬入物検査	搬入不適物（産業廃棄物）の排除と分別の徹底	プラ製容器の20%	772t
	ごみ処理手数料改定と資源化業者の紹介	産業廃棄物業者を紹介	プラ製容器の10%	386t
合計				6,750t

## 6. 新たな減量施策の導入

大津市では早急なごみ減量が必要であるため、減量効果の大きいものを今年度から開始する。

減量施策		導入時期
家庭系	紙ごみの行政回収の開始	平成26年1月から
	プラスチック製容器包装の収集日拡充	平成26年1月から
	透明びん・茶色びんの分別収集の開始（予定）	平成26年4月から
	ごみ処理手数料の改定（予定）	平成26年4月から
事業系	ごみ処理手数料の改定（予定）	平成26年4月から
	事業系一般廃棄物の規制強化（予定）	平成26年4月から

## 7. 現在の取り組み中の運動と啓発

種目	運動内容	平成24年度実績	実施時期
資源古紙	紙の集団資源回収の促進	652 団体が参加 11,975t	継続中
厨芥類	水切り運動の推進	ごみ減会議と協働	継続中
	生ごみ処理機補助金制度の推進	36 台分の交付 3t 減量	継続中
	コンポスト容器補助金制度の推進	協力6 団体 3t 減量	継続中
	食品リサイクル法の推進	570t の資源化	継続中
プラ製容器	マイバッグ持参運動	85%の持参率	継続中
	過剰包装お断り運動の啓発	ごみ減会議と協働	継続中